

4 児童・生徒数

令和8年4月1日現在

	学級数				児童・生徒数					
	一般	重複	訪問	合計	一般	重複	訪問	男	女	合計
小	1	8	4	13	1	22	10	22	11	33
中	1	8	1	10	2	20	2	14	10	24
高	1	6	1	8	1	17	2	8	12	20
計	3	22	6	31	4	59	14	44	33	77

5 スクールバス

スクールバス2台が運行しています。

Aコース：学校→渡口→安谷屋→伊平→中央駐車場→嘉手納道の駅→池武当松本→県営美咲団地前→美里二丁目→照屋入口→高原→学校

Bコース：学校→美里入り口→江洲→中部病院前→平良川バス停→ハイランダー→トーマス天願前→高等特別支援学校→安慶名自練前→JA与那城バス停→マンタ公園前→サイクル館前→かねひで比屋根店→学校

6 学校案内図



7 教育相談

近隣の学校、関係諸機関、個人からの申し出により就学前並びに児童生徒の教育相談、学校見学等に応じております。気軽にお問い合わせください。

教育相談のご案内

私達は 支援します！

教材に関する資料や情報が欲しい。

支援してくれる人や場所がわからない。

就学や就労のことで相談したい。

特別な教育的ニーズのある子ども(肢体不自由児、生徒)の理解や支援方法を知りたい。

子どもの療育や教育で困っている。

☆どのような相談を

- お子さんの療育、教育等について
- 就学、転学、進路について
- 学校教育における手立て・指導等について

☆どのような方法で

- 電話相談 / 随時受け付けています
- 来校相談、授業参観、学校見学、体験入学等

あらかじめ電話にて日程調整をお願いします
担当：特別支援教育コーディネーター 兼城 賢太郎

☆問い合わせ
沖縄県立泡瀬特別支援学校
〒904-2173 沖縄市比屋根 5-2-20
TEL(098)932-7584 FAX(098)933-0797
電話受付時間/10:00~17:00

令和8年度

学校案内

校訓

あかるく(明朗)
なかよく(愛)
たくましく(自立)

沖縄県立泡瀬特別支援学校

〒904-2173

沖縄県沖縄市比屋根5丁目2番20号

TEL:(098)932-7584

FAX:(098)933-0797

<http://www.awase-sh.open.ed.jp>

E-mail: school@awase-sh.open.ed.jp

1 本校の沿革概要

昭和54年	4月1日	沖縄整肢療護園中部分園内に県立那覇養護学校分教室として開設
	4月19日	県立那覇養護学校中部分園分教室入級・入学式(小学部19名、中学部8名)
昭和55年	4月1日	沖縄県立那覇養護学校泡瀬分校となる
昭和60年	4月1日	沖縄県立泡瀬養護学校設立
	4月10日	第1回入学式(小学部42名、中学部15名)
平成13年	4月1日	高等部設置
平成21年	4月1日	泡瀬特別支援学校へ校名変更
令和5年	4月10日	令和5年度入学式(全在籍93名) (入学生:小学部6名、中学部7名、高等部10名)
令和6年	4月9日	令和6年度入学式(全在籍87名) (入学生:小学部5名、中学部11名、高等部8名)
令和7年	4月8日	令和7年度入学式(全在籍85名) (入学生:小学部3名、中学部8名、高等部7名)
令和8年	4月8日	令和8年度入学式(全在籍81名) (入学生:小学部3名、中学部5名、高等部6名)

2 本校の教育

(1) 教育目標

「あかるく(明朗)・なかよく(愛)・たくましく(自立)」の校訓の下、児童生徒一人一人に応じた自立・社会参加を実現し、豊かな人生をおくることができるようそれぞれが有する能力と可能性を最大限に伸ばし、「生きる力」を育む。

校訓 あかるく(明朗)・なかよく(愛)・たくましく(自立)

(2) <本校のめざす子ども像>

- 自身の健康を意識する子
- 望ましい態度で人と関わりをもてる子
- 意欲的、主体的に活動し、自立しようとする子

<本校のめざす教職員像>

- 多様な角度から検討し、児童生徒の将来像を描く教職員
- 教育目標の達成に向け、手立てを論理的に考え、真摯に実践する教職員
- 支持的、協働的に学校運営に参画し、児童生徒から信頼される教職員

(3) 小学部の教育目標

- ① 元気な児童
- ② 明るく思いやりのある児童
- ③ 身のまわりのことは自分でできる児童
- ④ 最後まで頑張る児童
- ⑤ 進んで学習する児童
- ⑥ 周りの人との関わりを広げ、気持ちや考えを表現できる児童



(4) 中学部の教育目標

- ①自分の身体について知り、健康に気をつけることのできる生徒
- ②生活体験の幅を広げ、豊かにするとともに、将来について考えることのできる生徒
- ③友達を大切にし、協力し合う生徒
- ④人との関わりを広げ、気持ちや考えを表現できる生徒
- ⑤興味関心の幅を広げ、ねばり強く学習できる生徒
- ⑥豊かに学校生活を送ることができる生徒

(5) 高等部の教育目標

- ①規則正しい生活習慣の確立と健康管理に努める生徒
- ②自分の能力・適正を把握し、進路選択のできる生徒
- ③様々な人と関わり、よりよい人間関係を築くことができる生徒
- ④自らの趣味を深め、余暇を有意義に活用できる生徒
- ⑤自らの進路や社会生活を見据え、主体的に学習できる生徒
- ⑥情報を活用し、自らの生き方を選択できる生徒

(6) 訪問教育

障害のため通学して教育を受けることが困難な児童又は生徒に対して家庭や病院等の施設において訪問教育を行う。

3 学校生活の様子

<自立活動>

一人一人が自立に向けて、障害による生活上又は学習上の困難を主体的に改善・克服する知識、技能、態度を養う。



自立活動



抽出での自立活動
(1対1での取り組み)

<交流及び共同学習>

近隣の学校や地域との連携を深め、交流及び共同学習を通して児童生徒の経験を広げ、社会性や好ましい人間関係の育成をねらいに小学校、中学校、高等学校との交流を行っています。また、小学部、中学部においては、居住地校交流も実施しています。



高原小との交流会

<進路指導>

社会自立を目指し、進路学習や就業・生活体験等を通して、自己の能力や適性を理解し、適切な進路選択ができるように取り組んでいます。

<進路状況>

		令和8年4月1日現在				
年度	本校高等部	県立高等学校	その他の進学	施設	在宅(福祉サービス)	合計
R4	10	1	0	0	0	11
R5	8	0	1	0	1	10
R6	6	0	0	0	0	6
R7	6	1	0	0	0	7

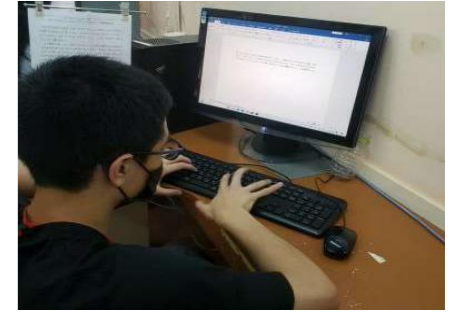
高等部

年度	就職	進学	就労移行	就労継続AB	生活訓練	生活介護	施設入所	入院在宅	合計
R4	0	0	0	1	1	6	0	0	8
R5	0	1	0	0	0	3	1	1	6
R6	0	0	0	0	0	5	2	1	8
R7	0	0	0	1	0	7	2	0	10

<学校行事の様子>



学習発表会(自立活動室)



高等部 就業・生活体験
「就労継続支援B型事業所での体験」



小学部 修学旅行